

いわてまち



議会だより

第183号

平成20年8月28日発行

特集

議会の新体制が決定

..... 2

6 平成20年第2回定例会
月定例議会 (会期：6月12日～13日) 6
—任期最後の定例会—

一般質問 8

主な
内容

一般選挙後初の議会を開催

議長に佐藤弘吉氏を再選

副議長に、早坂信一氏が初当選



副議長
早坂信一氏



議長
佐藤弘吉氏

16人の議員による新体制がスタート
町議会議員の任期が、7月20日に満了することから、7月6日に一般選挙が行われ、新たに16人の議員が当選しました。
全議員が出席して開かれた初議会では、最年長の佐々木光雄議員が臨時に議長の職務を務める中、議長選挙が行われ、無記名投票の結果、佐藤弘吉議員が13票を獲得し当選しました。
佐藤新議長のもとで行われた副議長選挙では、早坂信一議員が10票を獲得して初めての当選。改選で4人が減った16人の議員による新しい議会の体制がスタートすることとなりました。

議長選挙の結果 (投票総数16票)

佐藤弘吉	13票
田村正	2票
※無効投票・・・1票(白票)	

副議長選挙の結果 (投票総数16票)

早坂信一	10票
愛木武治	2票
佐々木光	2票
武田茂	1票
※無効投票・・・1票(白票)	

常任委員会の充実で議会の活性化が期待

議会には、多種多様な案件を能率的、専門的に審議するための委員会が設けられています。

議員の改選後初めて開かれる議会となる、平成20年第3回臨時会が、7月22日に開かれました。初議会では、議長や副議長の選挙、各常任委員の選任などが行われ、新しい議会の体制が決まりました。
また、一般会計補正予算など8案件が、町から提案され、すべて原案のとおり決定しました。(本文中の数字は洋数字で表しています。)

議員運営委員、一部事務組合の議員7人も選任

初議会では、議会を効率的に運営するため、議会運営に関する審査や調査など議長の諮問的役割を担う議会運営委員会を選任。盛岡北部行政事務組合を始めとした3つの一部事務組合の議員には、議長の指名推薦により7人の議員が選ばれました。

産業民生常任委員会

委員長

岩崎 富士夫

副委員長

武田 茂

委員

佐藤 竹 広

瀧本 秀 雄

大下 松 三

田村 正

佐々木 光 雄

総務教育常任委員会

委員長

笹渡 昇

副委員長

田中 二郎

委員

朽木 元治郎

小島 英 亮

山中 ナツエ

早坂 信 一

阿部 秀 右

愛木 武 治

議 会 の 新 体 制

一部事務組合議会議員

○盛岡北部 行政事務組合

小島 英 亮

佐藤 竹 広

岩崎 富士夫

○岩手・玉山 環境組合

朽木 元治郎

武田 茂

山中 ナツエ

○盛岡広域行政事務組合

早坂 信 一

議会運営委員会

委員長

笹渡 昇

副委員長

岩崎 富士夫

委員

小島 英 亮

武田 茂

田中 二郎

田村 正

(敬称略)



1番議員



くち きもと 木 元治郎 (54)
大袋、会社員 ①

①この厳しい情勢を乗り越えるように、良い方向へ導く働きをしたい。
②正しいと考えたら自分の意思を貫きとおす
③投網

3番議員



こま じま えい 小 島 英 亮 (62)
上大町、商業 ①

①日々急速に変化する社会経済環境は、グローバル化され即刻生活に直結してくる時代です。岩手町の優れた特性を生かすよう、時代の変化に対応するため鋭意努力します。
②4年間の経験を無駄にすることなく新たな決意で活動します
③スポーツ

2番議員



さいとう たけひろ 佐 藤 竹 広 (59)
境田、無職 ②

①自然環境・歴史・文化など多様な資源を最大限生かし「真に豊かな希望と安心が実感できる」町づくりのために町民の声を真摯に受け止め町政に反映するため2期目のスローガンに誠心誠意努力いたす所存でございます。よろしくご支援願います。
②一心不乱
③ゴルフ、釣り

4番議員



たけだ しげる 田 茂 (56)
新田、農業 ③

①厳しい財政状況にあっても活力ある町づくりのために、農業、商工業の活性化や少子高齢化対策など福祉の向上、スポーツ振興による健康体力づくりの推進、交流事業推進で交流人口増で経済効果が高まるよう努力します。
②住民本意の行政を心がけ議会に町民の意見を反映する
③スポーツ全般（特に野球）

7月20日の任期満了に伴い行われた一般選挙により誕生した新たな町議会議員の皆さんに今後の抱負などについて寄稿いただきました。

質問は①新議員としての抱負②私の信条③趣味についての3項目です。

議席番号順に掲載し（敬称略）、顔写真下の説明は上段＝氏名（年齢）、下段＝行政区、職業、当選回数（○内）の順です。

5番議員



たなか じ 田 中 二 郎 (56)
下浮島、農業 ③

①商店街と農業生産者が共有、共生できるような相互の交流を深め親しみとにぎわいのある活力にみちた町づくりの推進。併せて岩手工業団地（浮島）、グリーンヒルズ川口など企業誘致の促進。
②初心に帰って古きを温めて新しきを知る
③スポーツ観賞

7番議員



ささき わたり のぼる 笹 渡 昇 (57)
岩瀬張、農業 ③

①町民皆様のご支援のおかげで3期目の当選を果たすことができました。改めて御礼を申し上げます。議員数が16人になりましたが、住民の声をしっかりと受け止めて今後の町政に反映させていかなければならない重責を、さらに強く感じています。
②潤いと活気に満ちた町づくりを推し進めること
③特になし

6番議員



たきもと ひで お 龍 本 秀 雄 (56)
駅通、商業 ③

①町政に対する皆さまのご意見を大切に、高齢化社会に対応した福祉の充実と生活環境の整備に努め、商店会の活性化と農業の振興を図り、次代を担う青少年健全育成と交通事故防止活動に努力します。今後ますます厳しい社会情勢が続く中、希望と安心が実感できる町づくりに勤めます。
②初心を忘れず誠実な行動
③スポーツ、旅行

8番議員



いわさき ふじお 崎 富士夫 (70)
下浮島、農業 ③

①これまでの貴重な経験をもとに、明るく活力ある町づくりのため、町の基幹産業である農業に若者が定着できる環境づくり、生活関連道路の整備、少子高齢化に即応した社会福祉の充実など、住民の福祉向上に鋭意努力します。
②住民との対話を大切に、誠心誠意目標に向かって努力します
③囲碁、スポーツ観戦

9番議員



やまなか ナツエ(71)
葉ノ木、商業 ③

過去に例をみない無投票当選を賜りありがたくお受けいたします。なおご理解あるご勇退を決断なされました議員の皆様にご感謝申し上げます。有権者全員のご指示をいただいたものと、その使命と責任を痛感いたしております。

- ①全町的な視野で取り組みます。
- ②最後まで成し遂げる(不可能な事には手を出さない)
- ③映画鑑賞、音楽鑑賞

10番議員



おおしたまつぞう(73)
大坊、自営業 ⑤

- ①この度皆様のお世話になりました。これから岩手町議会改革のため、誠心誠意努力する覚悟でございますので、よろしくお願ひ申し上げます。
- ②心に太陽を、世界に平和を、岩手町に幸せを
- ③自然観賞、読書、音楽

11番議員



たむらただし 正(60)
橋場、政党役員 ⑥

- ①高すぎる国保税や子育て支援介護や高齢者問題、就労対策、そして町の基幹産業である農業を始め地場産業の振興等、町民負担の軽減・産業振興で、いちと暮らしを守る町政を目指し頑張ります。
- ②町民の願いを誠実に届け、実現目指し力を尽くす
- ③読書

12番議員



あべひですけ(61)
御堂、行政書士 ⑥

- ①広域合併問題、老人福祉サービスの質的低下問題、地場産業育成問題などの解決に鋭意努力します。
- ②「住民が主権者」の立場で議会活動をしていく
- ③古建築の研究、水環境の改善維持のための山林育成事業

新議員16人の紹介

13番議員



ささきみつお 雄(76)
下愛宕下、石材業 ⑦

- ①町民のご支持を頂き町議会議員として6期24年間町政に携わり、皆様の代弁者として働かせて頂き感謝申し上げます。有志のご推薦を頂き不肖を顧みず立候補し、7期目に当選できたこと心より御礼申し上げます。町財政も緊迫するなか議員定数を削減し、今後の町の発展に微力ながら努力してまいりますのでよろしくお願ひ申し上げます。
- ②誠心誠意
- ③旅行、写真

14番議員



あいきたけし 治(70)
新愛宕下、政党役員 ⑨

- ①合併に頼らない自立した町づくり、小さくともキラリと光る自治体を目指します。生活環境の整備はもちろんのこと、雇用暮らしを守るために頑張ります。福祉、医療、教育の充実、産業の振興、とりわけ農業振興に力を尽くします。
- ②「住民が主人公」の立場で、地方自治の推進に努める
- ③読書、旅行、将棋

15番議員



はやし しんいち(60)
尾呂部、農業 ⑤

- ①高齢化の進む中、老人福祉の充実を目指した取り組みを行い特養施設などの整備に努めます。農業と商工業の活性化を図り若者達が定住できる町づくり
- ②正しい事は正しい、悪い事は悪いと言える人間になりたい
- ③スポーツ、釣り

16番議員



さとうひろきち 吉(64)
水無、農林業 ⑨

- ①執行部側と議会側を「両輪のごとし」と例える事がある。走りすぎるときには、片方の車輪にブレーキを掛けると緩やかに元の方向に向き、早く戻る時は逆回転すれば急速に元の方向に向く。この車輪の見極めのできる議会人となり、住民と議会と首長(行政)の間の風通しをよくするよう頑張る。
- ②報恩奉仕の精神
- ③旅行、自然散策

監査委員

見識監査委員に松森恭一氏
議会選出は瀧本秀雄氏を再任



瀧本 秀雄 氏



松森 恭一 氏

監査委員の任期満了に伴い、議会は、識見を有する監査委員として松森恭一氏（74歳・上愛宕下）を、議会から選出される監査委員には、瀧本秀雄氏（56歳）を選任することに同意しました。

松森恭一氏、瀧本秀雄氏はともに2期目の就任で、任期は松森氏が2月22日から4年間、瀧本氏は議員の任期と同じ平成24年7月20日までです。

政務調査会

政調会も新体制発足

佐々木光雄氏が会長に再任



佐々木 光雄 氏

議員の資質を高め、町政各般にわたる調査、研究などで民主的な行政の振興に貢献しようと、議員全員で構成する政務調査会は、7月22日、臨時総会を開催し、新しい役員を選任しました。

会長には、前期に引き続き、佐々木光雄氏を再任、副会長には大下松三氏が選ばれました。佐々木氏は2期目の就任で、大下氏は初めての就任です。

■岩手町政務調査会の構成

会長	佐々木 光雄
副会長	大下 松三
理事	佐藤 竹広 小島 英亮 武田 茂
監事	朽木 元治郎 瀧本 秀雄
顧問	民部田 幾夫
参与	佐藤 弘吉

補正
予算

北京での活躍に期待を込めて
頑張れ！さくらジャパン

▼一般会計補正予算
一般会計補正予算は、5万8,000円を追加し、総額74億4,678万円となりました。

主な補正の内容は、2008年北京五輪女子ホッケー競技に、小沢みさき選手（23歳、相模出身）が、日本代表の一人として出場することを記念して行われる事業への補助金や海外遠征への激励費のほか、消防用車両の自動車事故に係る損害賠償金の増です。



小沢みさき選手は全試合に出場。惜しくも10位に終わったが健闘が光った。

人事

御堂・一方井財産区
管理会委員の選任

▼御堂財産区管理会委員の選任
▼一方井財産区管理会委員の選任
御堂財産区管理会と一方井財産区管理会の委員が任期満了を迎えることから、それぞれ次の方が新たに委員に選任されました。

農業
委員

農業委員に2氏を推薦

岩手町農業委員会委員の任期満了による農業委員選挙に伴い、町長から委員の選任について依頼を受け、議会は、千葉静子氏（59歳・境田）、細野清悦氏（54歳・岩瀬張）の2人を推薦することに、全員が賛成しました。



細野 清悦 氏



千葉 静子 氏

◆御堂財産区◆高森日出男氏（78歳）、高野兼蔵氏（84歳）、留場新吉氏（73歳）、戸野村正氏（71歳）、久保一彦氏（75歳）、澤村正男氏（79歳）、佐々木義一氏（80歳）
◆一方井財産区◆遠藤哲男氏（79歳）、田中喜次雄氏（71歳）、遠藤文夫氏（77歳）、今松重一氏（58歳）、佐々木民也氏（80歳）、遠藤輝光氏（62歳）
▼白樫大渡線道路改良工事の請負契約の締結
▼岩手町公共下水道岩手町浄化センターの建設工事委託に関する協定の締結
それぞれの工事を契約することに賛成しました。
▼職員の交通事故に係る損害賠償額を定め和解すること
平成20年6月1日に発生した、消防用車両の自動車事故の、損害賠償額を定め和解を成立させることに、全員が賛成しました。

任期最後の定例会を開催

20人の議員で行われる議会としては最後となる、平成20年第2回定例会が、6月12日、13日の2日間開かれ、一般会計補正予算など17案件を慎重に審議、すべて原案のとおり可決しました。
一般質問では、▽介護保険▽妊産婦の無料健診▽農業問題など4人の議員から質問がなされ、活発な議論を展開しました。（本文中の数字は洋数字で表しています。）

補正 予算

平成二十年度一般会計など各種会計の補正予算六案件が提出され、いずれも原案のとおり可決されました。

一般会計

一般会計予算は、1億2,528万7千円を減額し、総額77億4,672万7千円となりました。
歳入の主な内容は、▽固定資産税（現年課税分）▽税源移譲住民税還付交付金▽岩手工業団地の一

部売却に伴う収入の増などです。
一方、歳出の主な内容は、▽総務費の財政調整積立金▽税源移譲住民税還付金▽商工費の岩手工業団地進入路整備工事費などによる増。その他人事異動などに伴う人件費の調整などです。

各会計予算の補正一覧

(万円未満切り捨て)

会計名	補正額	補正後の予算額
一般	1億2,528万円	74億4,672万円
国民健康保険	107万円	17億7,005万円
老人保健	-	1億8,475万円
後期高齢者	-	1億3,006万円
公共下水道	△193万円	5億4,266万円
戸別浄化槽	-	3,755万円
一方井財産区	131万円	261万円
御堂財産区	8万円	148万円
水道事業	50万円	5億3,431万円
合計	1億2,633万円	106億1,182万円

その 他の 会計

国民健康保険特別会計は、歳入となる県支出金の特別調整交付金が増え、歳出では収納体制強化関係経費などが増えました。
公共下水道事業特別会計や水道事業会計は、人事異動などに伴う人件費の調整により、それぞれ予算を補正しました。

条例

愛着ある「ふるさと」への 応援で税控除

▼税条例（専決処分）

地方税法などの一部改正に伴う、町税条例の一部改正が、緊急を要することから、専決処分され、議会は、これを全員が承認しました。
町税条例の主な改正点は次のとおりです。

▼平成19年度一般会計補正予算（専決処分）

歳入の大宗をなす地方交付税額の確定や、事業費の精査などにより、歳入歳出にそれぞれ506万4,000円を追加し、総額7億7,520万1,000円となりました。

緊急を要することから専決処分により予算が補正され、議会は、これを全員が承認しました。

▽個人町民税の年金からの特別徴収制度の創設

(65歳以上で年間18万円以上の老齢基礎年金を受給者が対象とした個人住民税の天引き)

▼国民健康保険税条例（専決処分）
地方税法などの一部が、平成20年4月30日から改正されることから、町の国民健康保険税条例の一部を改正しました。

この条例の主な改正点は、世帯別平等割額について、同一の世帯に属する国民健康保険の被保険者が後期高齢者医療制度の被保険者となることにより、国民健康保険の単身世帯（特定世帯）となる場合の減額措置を設けるものです。
条例の改正は、緊急を要することから専決処分され、議会は、これを全員が承認しました。

▼国民健康保険税の一部を改正する条例の一部改正（専決処分）
地方税法などの一部を改正する法律が昨年度末までに公布されたため、平成20年第2回臨時会で議決された町国民健康保険税条例の施行日を、平成20年4月1日から4月30日に改めました。

▽ふるさと納税制度の創設による寄附金税額控除

(控除額の上限は、個人住民税の所得割額の10%)

『ふるさと納税制度』

ふるさとへの愛着を形にしようと、出身地に限らず全国の自治体に対して寄附した場合に、一定の要件で住民税などが軽減される制度



健口（けんこう）体操で介護に頼らない元気な心と体を支援
（北山形地区での介護予防教室 平成19年11月8日）

個人の在宅介護に補助支援策を

議員

町長

個々の状況に応じた相談で対応

行く末の身の振り方と
介護保険制度

質問 年を重ね、身の不自由さを感じたとき、介護に対する認識が高まってくると思われる。町は広報などで周知しているもの、なかなか理解が浸透しないように思い、次の点を伺う。

①介護福祉施設を利用する場合の1カ月あたりの費用はいくらか。

町長 介護サービスが受けられる介護保険施設は、▽介護老人福祉施設（あんずの里）▽介護老人保健施設（ケアホーム川口）▽介護療養型医療施設（佐渡医院）の3つ。それぞれ施設の利用料金は、個々の要介護度や施設の形態、サービスの種類や内容によって異なるため、役場窓口にご相談いただきたい。

②介護保健施設での入所待機者数は。

町長 盛岡北部行政事務組合管内での介護保険施設の入所待機者数は、571名（平成19年12月31日現在）で、町内施設への待機者数は129名（4月30日現在）、うち町内の方は93名である。

その入所順位は、特別養護老人ホームの場合、申し込み順ではなく介護度などに応じて決定される。

③個人の在宅介護に対する補助制度の有無は。

町長 現在の介護保険給付には、個人で在宅介護し介護サービスを受けていない方への補助制度はないが、住宅改修サービスや通所サービス、訪問サービスなど、ケアプランに基づく在宅サービスが利用できることとなっている。

待機者解消に向けた町独自の取り組み

質問 町独自の規則により、入所待機者数を救済する考えはないか。

副町長 いずれ今の制度のもとでやるしかないと思っている。町が単独でやっている例はなく、今のところ考えていない。

道路特定材現と町の道路整備計画

質問 風を読むという世相の中、迅速な行政の対応が緊急の課題である。先般、揮発油税などが来年度からの一般財源化が閣議決定さ

れながら、衆議院では改正道路財源法が再可決された。道路財源に対する現状は非常に厳しく、一般財源化による町の道路予算への影響が懸念され、財源の精査が必要と考えることから、

▽町の重要な道路の整備実施計画▽場所や延長などの計画概要について伺う。

町長 町の当初予算編成には、暫定税率や道路財源特例法の継続を前提とし、5月13日に閣議決定された道路特定財源に関する基本方針により、国の責任で適切に財源が措置されることから、予定どおり事業を実施できると理解している。

道路整備実施計画は、幹線道路整備や道路維持に関する事業を町総合発展計画後期計画に計上し、毎年見直しや調整を行い、3カ年実施計画を策定している。

本年度、町では町道横田岩崎線（400m）、町道橋場線（100m）などの道路改良事業を行う予定である。また、維持補修事業では町道小金沢線、町道大森線、町道館線、犬袋橋などでの実施を予定している。



喜びのその瞬間を安心して迎えるため、坂井博毅先生は妊婦と胎児の声にそっと耳を傾ける（超音波検査の様子）

議員

無料健診の充実で母子に安心を

妊婦に耳を傾け総合的に検討

町長

無料健診の充実と安心できる出産環境

質問 出産は、母子ともに生死をかけた命がけの闘い。どんなに苦しくとも、出産後の安堵感と喜びは、何物にもかえがたい女性の特権であり、母子ともに健康で安心して出産できる環境への配慮が必要。

今年度は、妊産婦の無料健診回数が5回と増えたものの、胎児が母親の胎内で10カ月かけて成長することを考え、毎月1回の無料健診は必要ではないか。

町長 一般的に、妊婦が受診すべき健康診査回数は13〜14回と言われる。町では母体や胎児の健康確保に向けた妊婦健康診査の重要性の高まりを受け、今年度から国の通知に基づく5回に見直した。

県内35市町村中、健診回数を5回とする市町村は28市町村で、今後は、妊婦の声に耳を傾けながら総合的に検討したいと考えている。また、医療機関との緊密な連携と保健師のきめ細やかな訪問指導などにより、一層安心して出産を迎えら

れるよう努力したい。

人口減少を食い止め町に発展を

質問 町の人口減少を食い止めるには、町外からの移住や出生率を高める対策が必要。結果として町の発展につながると思われるが、町長の考えはいかに。

町長 少子化・定住化対策は町の喫緊な課題と考え、働く保護者のニーズにこたえられるよう保育料一律10%の減額や休日・一時保育などの実施、地場産業の育成や既存企業の支援、新規進出企業の立地などの定住化対策に取り組んでいる。本年度は、新たにパーク

タウン川口第2分譲地（41区画）の宅地造成に着手、雇用促進住宅岩手宿舎を購入するなど、住環境の整備をさらに進める。

町有地の無償貸与と30年後の贈与

質問 パークタウン川口第2分譲地などを無償貸与し、30年経過後は居住者にその土地を贈与してはどうか。

町長 町外からの移住希望者の受け皿として、将来性

のある有効な施策と思われるが、▽条件のよい住宅地に適した町有地の有無▽現行のパークタウン川口などの分譲住宅との整合性▽民間事業者の圧迫など問題点も多くあることから、町は現行の施策効果を高めたい。

3人目の子どもと学校給食費の免除

質問 3人目の子供の小学校就学時点で、全員の義務教育期間中の学級費や給食費の免除は、町の財政的な負担以上にメリットが大きいと思われる、町外からの移住者増など人口増につながるか。

町長 学級費は、教育活動に必要な経費として、また学校給食費は栄養バランスのとれた食事をひとしく提供する費用に充てている。

これまで、学級費や学校給食費など児童生徒の就学に必要な費用は、就学援助制度により収入など世帯の状況に応じて支援している。今後は、この制度の充実と利便性を向上させながら、就学と保護者の負担軽減を支援したいと考えている。



施設の生活は我が家の暮らしのようにと話す日野重信施設長は入所者との触れ合いを欠かさない（あんずの里での朝の様子）

町の特別養護老人ホーム建設は

議員

町長

状況厳しくとも継続して要望

介護保険事業計画と町の老人ホーム建設

【質問】 第四期介護保険事業計画の策定には、利用者などの要望にかなった内容が必要と考え、次の点を伺う。

①次期計画に入れる内容は

【町長】 ①盛岡北部行政事務組合管内は、平成26年度目標値を設定する際に国が示した『参酌標準』を大きく上回るなど、次の計画に介護関連施設の整備計画を入れるのは難しい。

②町での特別養護老人ホーム建設の考えは

【町長】 第四期介護保険事業計画の方針はまだ示されていないが、策定の際は、今後も引き続き特別養護老人ホームの建設を要望したい。

③介護保険料の滞納状況は

【町長】 昨年度中に75歳以上で保険料を普通徴収された140人のうち、滞納者数は7人で、滞納額は約20万円と見込まれる。

行財政改革と

体育館建設

【質問】 アクションプラン2

004で歳出削減に取り組み中、町民の期待も大きい

スポーツ文化センター建設について▽基本構想の内容▽住民要求▽財政計画について町長の考えを伺う。

【町長】 老朽化が進み、利用者をはじめ各種団体から強い要望があるスポーツ文化センターは、今年度基本計画を立て、平成23年度供用開始に向けて取り組んでいるが、まだ構想段階にあり内容は流動的である。

今後は、町の行財政改革の趣旨に沿って、できるだけ財政的負担を抑えた計画で、著しく華美にならないよう説明責任を果たしながら、実現に取り組みたい。

歩道や側溝など

計画的な生活環境整備

【質問】 日常生活環境の整備

には計画的な整備が必要。野口町地区や川口の市街地域の歩道、側溝整備について町長の考えは伺う。

【町長】 野口町地区の県道岩手平館線の歩道整備などについて、県は、今後の経済

情勢の中で事業費や用地の確保など、大町同様、街路事業として大きな枠組みで考える必要があるとしており、町も交通安全対策など

整備が必要な箇所は、強く要望したいと考えている。

一方、県道藪川川口線は道路パトロールなどで緊急度や優先度の高い順に、実施しているところである。

年寄りをいじめる後期高齢者医療制度

【質問】 75歳以上の高齢者を

対象とした、保険料の年金天引きや滞納者の保険証取り上げなど、後期高齢者医療制度はやめる以外にないと考え、▽事業実施に伴う現状への見解▽具体的に制度をどう見直すべきか▽国への制度の中止・廃止について町長の考えを伺う。

【町長】 今回の複雑で広範囲にわたる医療制度改革は、特に高齢者の方々には解りにくい医療制度となった。私は①高齢の低所得者層に配慮した保険料②保険料納付方法の再検討③医療保険制度間の公平性の確保といった点を考慮し、国民生活に根差した視点に立ち見直す必要があると考えているが、制度廃止などの要請は非現実的で、国には制度の課題や改善点の要望が必要と考えている。



「春みどり」に代表されるキャベツは町の振興作物。町はそれをけん引役に他の作物の振興を図る。（町学校教育研究社会科研究会の様子 7月30日）

議員

農政の抜本的転換の働きかけを

町の農業発展に制度の充実を要望

町長

衰退する町の農業に
充実した支援策を

質問 国の食料自給率低下の影響など町の農業は危機的状況にあるが、町の総予算に占める農林水産費は10%に満たない。農業支援対策の充実など町の農政の抜本的な改革や国への要望が必要と考え、農業の現状について伺う。

町長 最近の国勢調査によると、町の農業就業者の平均年齢は男女共に60歳を超えるなど高齢化の進行や農業就業人口の減少が危惧され、経営耕地面積は3,976ヘクタールと、前回調査より減る状況にある。

また、水田経営所得安定対策に加え、町独自の米価下落対策により支援するとともに、今年度設置する栽培実証圃の成果を検証し、中長期的な自給飼料生産による高騰対策を図り、技術指導や情報提供、必要な資材購入費の一部助成などで後継就農者を支援していく。

一方、食糧確保や国土の環境保全のため農業衰退を防ぐには、国が責任をもつて施策を講ずるべきと考え

るが、基幹産業である農業の発展のため、国に制度の充実を強く求めていきたい。

小学校卒業時までの
医療費助成の拡充

質問 子育てに優しい町を目指す当町にとって、その大切な施策である医療費助成の対象を小学校卒業まで拡充する考えはないか。

町長 子育てする家庭にとって医療費助成制度への関心は高く、その負担軽減はどれも望むところだが、今後は、対象年齢の拡充に伴う財政負担や保育料の軽減など、総合的に検討し、効果的な子育て支援策を展開していきたい。

国民健康保険税の
1世帯2万円の引き下げ

質問 昨年度末の基金と繰越金が約1億6,000万円と、厚生労働省の示す医療費の5%を超えていることから、国保税を1世帯2万円引き下げる考えはないか。

町長 後期高齢者医療制度の創設に伴う国保税率の見直しで、1世帯あたり約1万7,000千円の減額と

なった。7月の国保税の本算定後に、医療給付費の推移や収納状況、医療制度改革による財政への影響などを見極め、中期的な視点で対応すべきと考えている。

安心して働ける
労働条件対策を

質問 派遣労働や低賃金などで仕事が生括に結びつかないとの声がある。雇用拡大と労働条件対策が必要と考え、行政や町内企業の雇用状況、企業への正規雇用の要請や国への労働条件改善の要請について伺う。

町長 ことし4月の町の有効求人倍率は、昨年と同じ0.42で、国や県に比べて依然低い状況にある。

町の正職員は160人、臨時職員は82人で、町内誘致企業7社では、今年度非正規雇用者が237人、正規雇用者は79人であった。

町では、就職支援奨励金や雇用奨励金制度の周知とともに、会社訪問などで雇用の正規化を要請し、正規雇用を促進したいと考えるが、労働条件の規制を国に働きかけることは難しいと理解している。

みなさんからの

請願 陳情

6月定例会では、新たに2件の請願が提出されました。いずれも6月12日に開かれた本会議において、全員賛成で採択されました。

6月定例会で採択された請願

全員賛成で採択

▼介護職員の待遇改善

に関する請願

【要旨】

介護職員などの給与は他の産業に比べて低く、好きな仕事でも将来の不安を理由に仕事を辞めざるを得ず、優れた人材の確保が困難な状況にあります。

少子高齢化が急速に進む中、

このままでは介護を担う体制が崩壊するのではと危惧することから、介護職員に「普通の生活」を保障できるように、介護報酬の増額改定を国に申

し入れて下さい。

「請願者」 県介護老人保健施設協会
会長兼社団法人全国老人保健施設協会支部長 木川田 典彌
「紹介議員」 南野 孝雄



昼夜を問わない対応にも笑顔と優しさは絶やさない(ケアホーム川口)

賛成多数で採択

▼ミニマムアクセス米の輸入を停止し、再生産できる米価を求める請願

【要旨】

バイオ燃料ブームや途上国の経済成長・人口増による食糧需要の急増で価格が高騰し、世界的な食糧不足が懸念される中、現在、日本では毎年77万トンもの米が輸入される一方で、国内での生産調整が拡大・強化されています。

今は生産費を償う米価保障政策

で、農家の生産からの撤退を防ぎ、生産を守ることが必要であることから、国などへ次の事項を実現するよう意見書を提出して下さい。

- ①ミニマムアクセス米の輸入を一時中止し、WTO交渉の場で制度見直しを強く働きかけること
- ②生産費を償う米価を保障するための政策をとること

「請願者」 農民運動岩手県連合会
会長 久保田 彰孝
「紹介議員」 田村 正

選挙

後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙

町議会では、定例会最終日の6月13日、市町村議会から選出された議員の任期満了に伴う岩手県後期高齢者医療広域連合議員の選挙を行い、その結果を広域連合議員選挙長へ報告しました。

当選人は、各市町村議会での選挙による投票総数の多いものに決定します。

◆選挙の最終結果◆	
(総投票率 98.6%)	
(北上市議会議員)	《得票数》
当 佐藤ケイ子	239票
(金ヶ崎町議会議員)	
当 千田 力	242票
(紫波町議会議員)	
村上 充	209票
(※敬称略)	

議員 発議

意見書を提出する発議案を可決し、関係機関に提出し、内容に要約してお知らせします。

介護職員の介護保険制度を安定的に運営していくため介護報酬の増額を求める意見書

町民課の健康には鋭意努力を重ねていますが、さらに地域が一体となった地域ケアの拠点施設を安定的に運営するためにも、介護保険制度の堅持に向けた介護職員の待遇改善に関する下記事項の実現を強く要望します。

- ①来年度の介護報酬の増額改定
- ②介護職員に普通の生活を保障できる給与体系の確立

ミニマムアクセス米の輸入を停止し再生産できる米価を求める意見書

バイオ燃料ブームや途上国の経済成長・人口増による食糧需要の急増で価格が高騰し、世界的な食糧不足が懸念される中、コメの生産過剰による米価下落を原因として国内での生産調整が拡大・強化される一方で、ミニマムアクセス米が毎年77万トンも日本に輸入されている。生産費を償う米価保障政策により生産を守り、農家が生産から撤退しないようするためにも、下記事項の実現を強く要望します。

- ①ミニマムアクセス米の輸入の一時中止し、WTO交渉の場で制度見直しを強く働きかけること
- ②生産費を償う米価を保障するための政策をとること

人事

人権擁護委員に2氏を推薦

三浦氏を再任、新任者に高城氏



三浦 明 氏



高城 敬子 氏

人権擁護委員候補者の推薦

平成20年9月に任期を迎える人権擁護委員の三浦明氏（67歳、横田）と、同じく前任者の任期が6月30日を迎えることに伴う新たな後任者として、高城敬子氏（68歳、下苗代沢）を、それぞれ適任と認め、推薦することに全員が賛成しました。

三浦氏は平成14年10月から引き続き3期目、高城氏は初めての就任で、任期は3年間です。

その他

県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の減少と規約の一部変更協議（専決処分）

胆江地区広域行政事務組合および胆江地区消防組合の、3月31日解散に伴う、県市町村総合事務組合からの脱退や規約変更などの協議を専決処分したことに、全員が承認しました。

職員の交通事故に係る損害賠償額を定め和解すること

平成20年2月20日に発生した職員の車両接触事故について、損害賠償額を定め、和解を成立させることに全員が賛成しました。

計画

公共的施設の整備計画で町の辺地解消

岩瀬張地区の消防用自動車更新へ

町の辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更

町の辺地解消のため、辺地対策事業債を受けて、岩瀬張消防屯所配置されている消防用車両を更新整備しようと、平成17年度に策定した町の辺地に係る公共施設の総合整備計画を変更しました。

購入から24年が経過し、老朽化が著しいことから消防小型動力ポンプ付積載車を更新するもので、今後は火災など緊急事態での迅速での確な対応が期待されます。

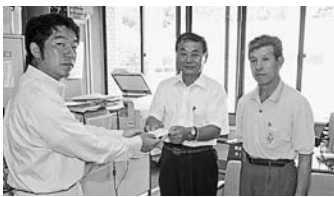


今年更新が予定される岩瀬張地区の消防用自動車

務会

岩手・宮城内陸地震の被災者救援に義援金

8月12日、政務調査会（佐々木光雄会長）は、6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震で被災された方々を支援しようと、岩手日報岩手支局をを通じて義援金を贈りました。



義援金を手渡す佐々木政調会長（左は佐藤晋岩手日報岩手支局長）

視察団がやってきた



健康への士気の高さに、議員も意欲的に質問



管理の苦勞に込める工夫に感心する議員

町には様々な議会の視察がやって来ます。その様子をみなさんにご紹介します。

宮城県女川町

海を舞台に発展するまち

宮城道女川（おながわ）町議会の文教福祉常任委員会の委員ら6名は、5月21日、町が全国に誇る健診事業を始めとした保健活動により医療費削減に取り組み様子について、視察に訪れました。

健康と福祉の町として、保健師との「協働」と「連係」で取り組む健診事業の様子に、視察に訪れた委員は、大きな関心を寄せた様子で、町の説明にとっても熱心に耳を傾けていました。

福島県棚倉町

いにしえからの風を背に躍動するまち

議長など福島県棚倉（たなぐら）町議会の全議員ら総勢18名は、10月14日、町技ホッケーによる町づくりや4つの駅による交流人口増加への取り組みなどの様子について視察に訪れました。

棚倉町は、平成7年の国体を契機にホッケーに力を注ぐ町です。訪れた議員は、昨年整備を終えた町ホッケー場の青々とした人工芝に清々しい風を感じていた様子でした。

地域文化の大事さ

基調講演

岩山漆芸美術館
館長 全龍福氏

「文化」とはお互いさまで、自国より他国の文化がよく見えるものです。

岩手の持つ文化や知恵を後世に残さなければなりません。その事を議員の皆さんにお願いしたいです。



全氏は、1988年に東京・日黒雅叙園の漆芸術作品の修復と作品づくりのため来日。

韓国人だからこそ
日本の漆文化のよさがよくわかった

八月五日、岩手郡町村議会議長が主催する第五十五回岩手郡町村議会議員大会が、雫石町中央公民館「野菊ホール」で開かれ、会場には、岩手郡内四町村の議員を始め、矢巾町議会議員合わせて、百三十八名が参加しました。

郡内町村議員が集結

第55回

岩手郡町村議会 議員大会

主な要望提案事項

- 国道、県道等の改良整備
- 並行在来線の貨物列車走行に伴う貨物線路使用料制度（調整金制度）の見直し
- 農林業振興対策の推進
- 医療制度の改善
- 治水事業（八幡平山系直轄砂防事業）の促進 など全9項目

満場の賛同を得て
声高らかに要望を決議

岩崎富士夫産業民生常任委員長は、岩手町を代表し「国・県の主要道路早期改良の実現を強く要望する」と提案。

各町村から出された議案は全て満場一致で承認され、早期実現への期待とともに決議されました。

満場の賛同を得て
声高らかに要望を決議

議会のうごき

平成20年6月1日～平成20年8月31日

- 6月4日 議会運営委員会
- 6日 国道281号整備促進期成同盟会総会（盛岡市）
- 12日 平成20年第2回定例会（～13日）
- 14日 岩手町ふるさと会総会（東京都）
- 25日 北方領土返還要求運動岩手県民会議総会（盛岡市）
小沢みさき選手北京オリンピック出場記念事業
実行委員会設立総会
- 26日 三陸北縦貫道路、国道281号整備促進期成同盟会
合同要望（宮城県）
- 7月8日 新議員懇談会・説明会
- 10日 福島県棚倉町視察来町
岩手郡町村議会議長会第1回定例理事会及び
政務調査会、研修会（～11日：平泉町）
- 17日 議員全員協議会
- 22日 平成20年第3回臨時会（初議会）
政務調査会臨時総会
- 23日 新正副議長によるあいさつ（～24日：郡内ほか）
- 25日 岩手郡議長会議長等会議（滝沢村）
- 8月5日 第55回岩手郡町村議会議員大会（雫石町）
- 11日 政務調査会第1回役員会
- 22日 第46回知事を囲む懇談会（盛岡市）
- 25日 岩手郡町村議会議長会県内実行運動（岩手県庁ほか）
- 26日 岩手郡町村議会議長会中央研修会（～27日：東京都）
- 27日 岩手県選出国會議員との懇談会（東京都）



岩崎富士夫議員は町を代表して提案。

大会に続き、岩山漆芸美術館館長全龍福（チョン・ヨンボク）氏を講師に迎え『地域文化の大事さ』と題し、自ら体験を通じ日本の漆文化を知る大切さを講演。

日本の漆文化に全力で取り組む姿と熱のこもった講演に、参加した議員はみな温かい拍手を送っていました。

編集後記

六月に岩手・宮城内陸地震、七月には岩手北部地震が相次いで発生し自然の脅威を感じさせられました。

一方、小沢みさき選手の北京五輪女子ホッケー「さくらジャパン」の一人として出場を決めました。岩手町から初の快挙に、活躍を期待しています。

改選で、広報委員もメンバーが代わり新たな議員で頑張りますので、ご愛読よろしく願います。（議会広報委員長 小島 英亮）



- 委員長 長島 英亮
- 副委員長 小島 竹広
- 委員 佐藤 藤員
- 委員 朽武 元治郎
- 委員 田中 茂郎
- 委員 瀧早 本二
- 委員 田中 秀信
- 委員 本坂 雄一

新たな広報委員で頑張ります。

次回の定例会は **9月上旬** です。
傍聴をお待ちしています。